

## 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2023 年 2 月 15 日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」和歌山岩出校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			広いスペースを確保しているため余裕がある。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			職員の定着を図る。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			安心して過ごすことができるように配置や設備等を整えていく。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			職員が参画できるように努めている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			業務改善につなげるように努めている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			事業所内で閲覧することが出来るようにしていき、改善に努めていく。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	実施していない。今後実施するかどうかは会社と相談していく。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			Zoom を使用した初任者研修、毎月のテーマ研修や臨時研修を行っている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			アセスメントを適切に行いニーズの分析を重ね作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		会社共通のツールを使用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			話し合い作成している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			利用者の状況に合わせて工夫するように努めている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			長期休暇時には宿題や復習、テスト前にはテスト対策を行っている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか			○	月曜開所日を利用し集団イベントを実施していたが、週 6 日開所になり開催が少なくなった。
⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝礼で情報共有に加え、個人間での共有も随時行っている。	

	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			短時間ではあるが主だったことを共有するようになっている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎回記録を取り、改善に努めている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			6か月以内にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しを実施している。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○			アセスメントの結果を踏まえて、個々に応じた支援を作成している。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			担当者会議に児発管が出席しており、また紙面での情報共有もしている。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか		○		保護者様からの申し出により学校訪問や電話連絡を行っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	該当者はいないが、連絡体制は整えている。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	電話連絡や紙面共有をしている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	現在該当者はいないが、連絡体制は整えている。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			児童発達センター及び医療機関で実施した発達検査の結果や支援について助言をもらっている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	今後そのような機会を得られるように尽力していく。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			○	児発管が代表として参加している。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			支援終了時に振り返りで保護者様に伝え、情報をもらっている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	保護者様からの依頼相談があれば積極的に改善策を探る。
保護者への	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時や毎月の請求時に説明を行っている。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			事業所内相談日を設けることで、相談に応じる機会を設定している。

説明責任等	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	ママカフェ等、保護者様が話し合う事ができる場を設けていく。
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			契約時に受付窓口の案内をしている。日頃から情報共有を密にとり、保護者様や利用者様の意見や気持ちなどをお聞きしながら迅速かつ丁寧な対応を心掛けている。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか			○	ホームページやブログ、LINEを使用し共有をしている。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報やパソコンなどは鍵付きの書庫に保管している。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			口頭だけではなく視覚情報を活用しながら意思疎通や情報伝達を行っている。
非常時等の対応	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	行事やイベント時には、パンフレットを配りに行くなどをし、地域に周知を図る。
	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			契約時に紙面で周知している。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			毎月防災訓練を実施している。
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止委員会を設置し、虐待防止研修や話し合いを定期的に行っている。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			契約時に説明し、了承を得ている。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	食事の提供は行っていない。
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハット事例が発生した場合には、報告書を作成、保管し、職員間の共有に努めている。

## 保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2023年 2月 15日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」和歌山岩出校

保護者等数（児童数）： 46名回収数： 37枚割合：

80.4%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	31	6		ZOOMの為分からない。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	33	4		ZOOMの為分からない。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	26	11		ZOOMの為分からない。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 <sup>i</sup> が作成されているか	37			子どもの様子をよく見てくれている。
	⑤	活動プログラム <sup>ii</sup> が固定化しないよう工夫されているか	34	3		支援内容が更新されている。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	13	15	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ZOOMの為分からない。</li> <li>・利用回数が少なく交流がないため分からない。</li> </ul> ※今後障がいのない子どもとの関わる機会を設けることが出来るように考えていく。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	36	1		
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	36	1		毎回詳しく様子を聞くことが出来るので安心している。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	34	3		
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	12	22	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加していない。</li> <li>・ZOOMなので分からない。</li> </ul> ※今後ママカフェを再開していく。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	33	4		
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	35	2		

	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	24	12	1	分からない。
	⑭	個人情報に十分注意しているか	36	1		
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	30	7		ZOOMなので分からない。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	20	15	2	・参加していないから分からない。 ・ZOOMの為訓練をしているかどうか分からない。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	31	6		・その日の精神状態によるから分からない。 ・大変楽しみにしている。 ・楽しみにしている。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	35	2		・いつもありがとうございます。 ・希望を受け入れて支援してくれている。

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。